

**次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会
第1回地域づくり部会 議事録（概要）**

■日 時

2023年6月27日（火）10：00～12：00

■場 所

愛知県自治センター4階 第三会議室
オンラインZoom *ハイブリッド形式により開催

■出席者

●委 員（敬称略）

○…部会長

所属・職	氏 名	形式
株式会社カーネル総研 取締役 コンテンツ・プロデューサー/中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	あかさき まきこ 赤崎 真紀子	対面
日本政府観光局（JNTO） MICE プロモーション部次長	いたがき あやこ 板垣 彩子	オンライン
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	おおさわ たけし ○大澤 健	オンライン
株式会社リクルート ジャらんリサーチセンター長	さわのぼり つぐひこ 沢 登 次彦	オンライン
名城大学 名誉教授	ふたがみ まみ 二神 真美	対面

●オブザーバー（敬称略）

所属・職	氏名	形式
一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事・事務局長	おぎの みつたか 荻野 光貴	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事	さかきばら ひとし 榊原 仁	対面

●事務局（愛知県観光コンベンション局）

観光コンベンション局各課長補佐・室長補佐同席

*局長、推進監、課長、室長、担当課長はオンラインで参加。

■主な内容

【目的】

- 観光関連事業の経済的発展を追記してほしい。

【目指すべき姿】

- 抽象的な言葉の羅列になっているため、具体的な表現が必要。
- 目的と手段が混在している、また、手法は記載する必要はない。
- 愛知県らしさを表現し、観光関連事業者や県民が共感できるものとし、明確な方向性と熱意を伝えるフレーズを使うべき。
- 観光を新しい成長産業として位置付ける表現が良い。

【施策の柱】

- 基本方針と施策の柱がリンクしていないので、それぞれの柱に基本方針による施策の進め方を具体的に記載すること。

〔観光資源の高付加価値化と PR・プロモーション〕

- デジタルとイノベーションを使った観光資源の高付加価値化や PR・プロモーションの具体的な方針を示すべき、

〔MICE〕

- MICE には国際会議や展示会だけでなく、インセンティブ旅行も含まれるので、愛知県の MICE のコンテンツも記載すべき。
- MICE 誘致のメリットやレガシーについても意識する必要がある。
- Aichi Sky Expo に関して、環境配慮型の施設や取り組みの強みについて十分に PR を。
- 国際会議の誘致において環境への配慮が求められるため、情報発信が必要。

【管理指標】

- 「あいち『ツウ』リズム」を評価する指標を設定すべき。
- 「観光 DX の推進」については、公式サイトのページビューや SNS のフォロワー数などは直接的な指標ではない。
- DX 化の段階(①事業者のテクノロジー化②二つ目のカスタマーの利便性の向上③地域の経営組織)において指標をたてるべき。
- 『ツウ』向けのプラン数、満足度、デジタル化による推進の目標達成度、ものづくり企業の参画数や生まれたイノベーションなどを指標として考慮すべき。

【役割と連携】

- 県域 DMO はマーケティングとマネジメントの役割を果たし、持続可能な観光地づくりにおいて重要な役割を期待することを明示すべき。
- 高付加価値化は観光に直接関わる業界だけの役割ではない。
- 国や他県との連携を進める必要があり、連携窓口として県の役割が重要。

【用語の整理と説明】

- イノベーションの類型化や具体的な実例を元に指標や評価基準を作り、目指すべきイノベーションの方向性を明確にする必要がある。
- 「あいち『ツウ』リズム」の定義(「人・物・事」に関して、想定以上の価値をカスタマーに届ける)や背景を明確にするべき。